



大和中ロータリークラブ会報

LET SERVICE LIGHT THE WAY

奉仕の灯で道を照らそう

R.I 会長 James L. Bomar Jr.

第 70 回 例会 1979 年 11 月 8 日 (木) 晴 第 75 号

出席報告

会員数	出席数	出席率	前回の修正
29名	23名	79.3%	93.1%
欠席者 布施, 伊藤正, 木崎, 鈴木, 高山, 辻			

芦田会長テーマ 友愛と協調

司会 芦田会長

ゲスト

杉山好和君 (大和 R. A. C.)

ヒジター

南修克己君 (川崎南) 高寿昌良君 (横浜田園) 河嶋平一君, 太田正孝君, 黒沢安雄君, 四元頼信君 北山久幸君, 江上尚志君 (大和)

会長報告

- 10月20日・21日に行われた地区大会が盛會裡に終了出来たことに対して、伊藤ガバナー並びに原大会委員長より礼状を頂いております。
- 地区大会において出席率第10位に表彰されるはずのところ手違いにより第11位となってしまいました。改めて地区幹事が来訪され表彰されることになりましたご了承下さい。
- 来年4月中旬 日本から米国に派遣される G S E の団長となるガバナー代理に横浜 R C 村上晋会員が決定しました。
- 55年開催の 1 G F 第 6 分区分リーダーは細谷実パストガバナーであります。当クラブで担当する

国際奉仕関係についての資料を委員会の方は提出して下さい。

- 75周年記念奉仕活動委員会より 3 H プログラム 寄附完納を前提とした奉仕賞を設定したので申請するようにとの要請がありました。
- 貴クラブで印象に残った会員の卓話を他クラブにも推薦しクラブの経費節約と卓話者の選定難を緩和しようとの呼び掛けが伊藤ガバナーよりありました。ご協力下さい。
- 12月12日(水) 15.00 (大和市商工会館) より予定されているガバナーとともにのクラブ協議会における発言順位は次の通りです。各委員長の方ご準備下さい ……①会長挨拶 ② S A A ③クラブ奉仕 (親睦, 出席, ロータリー情報, 職業分類, 会員増強, 会員選考, 会報, 雑誌, 広報, 75周年, プログラム) ④職業奉仕 ⑤社会奉仕 ⑥国際奉仕 ⑦青少年奉仕。

本日のプログラム 11月15日

ロータリー財団週間にあたり 長谷川清一君

次週予定 11月22日

クラブ協議会
「ガバナー公式訪問にそなえて」 北砂富三君

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か

3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

事務所 : 大和中央 1-5-40
及び 大和市商工会館内
例会場 電話 0462(63)7926

例会日 : 毎週木曜日 12時30分より
会長 : 芦田敬治 副会長 : 佐藤 実
幹事 : 北砂富三 会報委員 : 上田・竹之内・郡司

幹事報告

。12月27日 3クラブ合同例会が開かれます。

当クラブはホスト役を務めることになっております。早く具体案を出して各クラブ親睦委員長に連絡してあげて下さい。

。例会後 理事・役員会を開催します。

委員会報告

米山奨学記念委員会 有沢委員長

年次大会決議にもみられるように米山記念奨学会への寄附が期待されています。本日基金ボックスを廻わしますのでよろしく。

親睦活動委員会 中西委員長

本日のお祝いは3名です。お誕生日 蜂屋良平君(11月10日)。結婚記念日、近藤富士男君、鈴木久次郎君(ともに11月3日)。

クラブフォーラム

「社会奉仕について」 社会奉仕委員会

亀谷志郎委員長

亀谷リーダー

ロータリーの手続要覧にも奉仕とは「超我の精神である」、「最もよく奉仕するものは最もよく報われる」と書かれている。人間は内なる欲求に従おうとすれば外なる環境と合い入れぬ事が屢々ある。然し大脳新皮質で物事を判断する事の出来る人間は内なる自己の欲求に忠実である事が最も人間らしい生き方であると私は考えている。フランスの生理学者、クロードベルナルは、「内部環境の一定さが自由生活の条件である」と云っている。生命現象は個体を環境としている。然しこれは外部環境との調和の上に於てはじめて成り立つ事実である。これは特にロータリーの基本原則が個人を主体とし、それとそれをとりまくあらゆる外部社会との関連性にその活動の意味づけを持っている事と一致していると云えよう。

私は今こゝでギリシャ神話「くもにされたアラクネ」を引用したい。アテネに打ちすえられて絶望し、果ては蜘蛛に変わり、いつも同じ図柄の蜘蛛

の巣を織りつづけたアラクネの人間性を失った本能的な生き方は、人間の精神教育が如何に大切なものかを示唆している。

本能も、精神も系統発生的には一つのものから分化し生成したものであり、これが生命力であろう。然し人間の精神は生命力を基盤にして各々がそれぞれ自己の力で形成し、従って色とりどりであり、特に個性的でなければならない。教育(education) はラテン語で educare) (引き出す) に由来している。ルソーは「エミール」の中で教育とは子供の進歩と人間の心の自然な歩みに従うべきだ」と云っている。これが問題である。人間の心の内に内在している善性を引き出す事が教育なら、私達ロータリアンも今こゝに精神の原点にもどって、**よごれた魂を洗い、善性を引き出すのではないか**!!

この精神の上に立って個人の善意による奉仕こそ、ロータリーの社会奉仕の原動力であろう。然もこれは出来ればその年度内に区切をつけ実りあるものにする事が望ましいとされている。

社会奉仕そのものが大変な事柄であり一日一善的な精神面を主体にしたものから、クラブとしての実践的な奉仕活動に致るまで、その規模に応じて様々である。当クラブの活動方針と今後の計画はクラブ活動計画書にのせてあるので私は今日は自由討論の形で会員の皆様の卒直な意見をおきし出来るものならば今後の活動計画の中におりこくで行きたいと思っている。

(亀谷) ロータリーの奉仕は個人奉仕であるとはよく云われるところですが、実際にはクラブ単位でなければ向も出来ない。この辺から話しを進めていきましょう。

(中西) 社会奉仕とは我々自身で奉仕をするという様に理解した場合、自分の持っている拙い知識の切り売りですむのであろうか、また個人の微々たる資財の放出でよいのであろうか。何れにしても限りがある事で、こんな小さな事でよいのかと悩むわけであります。

(亀谷) それは心があれば微々たるものでよいと思います。1つの例ですが、大和RCの岩崎さん

が年末になると老人ホームに出張しお年し寄りの頭を刈って上げるそうです。先日の大西さんのお話しではありませんが、行政の目の届かない所を心で補うことこそ社会奉仕でしょうか。

(土屋) RCは一般の人達からみればやはり団体奉仕であろうと見られていると思いますし、クラブ単位の寄附を期待されているかも知れません。

(中西) アメリカのフォーク歌手が難民を慰問したけれど歓迎されなかった。このあたりに考えなければいけない点が隠されているのでしょうか。

(亀谷) 地域社会が何を求めているかを調査しその年度内になるべく終了する様な活動を、個人の心を大切にしながら結局はクラブ単位で行動して行くという事しかないと思います。

(長谷川) 全くその通りだと思います。

(松本) 国際親親運動などは個人で出来る奉仕の1つでしょう。

(芦田) 時間が来てしまいました。クラブフォーラムは結論を出す必要はないのですから、個人奉仕という事について各人それぞれに更に勉強をして参りましょう。そしてその個人の心を大切にクラブ活動にご協力下さい。有り難うご座居ました。

我らの広場

「ロータリークラブとその地区組織について」

(その2) 石川バスターガバナー

長谷川清一会員

[会報11月1日発行第74号(その1)に続きます]

例えば、社会奉仕、その地区で何を必要としているかを調べるのです。そしてその必要性が理解されれば同じ寄附金を出すにしても真心のこもった出し方が出来るようになると思うのです。

人間向上の道場がロータリーであるとお考えになればいいわけです。ですからロータリーに入れるようになったから、まあまあ俺も人並の人間になったと思ったら大間違いなんで、ロータリーに入れるように選ばれて、そこでもって教育をさせられる。その効果を上げるために人間の選考をし、

いい人を入会させます。しかし決して大きな会社の社長だから偉いんだとか、年をとっているから偉いんだとかではなく、自分自身が社会の為に貢献の出来るような人間になっていきたいんだ、そういう人達がロータリアンとして集って来るわけです。ライバル関係のない人達が集って切磋琢磨する場所が例会の場であると考えて下さい。

会長さんになられる方は出来るだけ多くの会員を動員し、なんの行事をやってもみんなが心を合わせて参加してくれるようになれば、みんなが一応その事によって体験し、訓練されてその人がレベルアップするという事になります。

奉仕の理想、すなわち思いやりの気持ということになるでしょうか。だから自分の従業員に対しても、同業者に対しても、地域社会に対しても、更には国家に対しても思いやりの気持をもつことが必要なことです。そして立派なロータリアンは最も忠良な国民でなければいけない、そしてこれを世界に広めていって話し合いをすることによって平和な世界が来るであろうということを理想にしてやって頂きたいのです。

国際奉仕なんてものがありまして青少年の交換をやってみたり、グループスターをやってみたり、みんながそのことによって訓練されて立派な国際人になるための場所なんです。ですから積極的に日常のロータリー活動に参加してもらえばいいのです。

さて拡大について少しふれてみましょう。今日新しく創立された方々がおみえになっているんですが、よくあんまり数を増やすと質がおちるということをいいますが、質とか量とかいって見たところでその地域地域によってうんと違うのです。

地域社会にとって地域社会の為に役に立つような仕事をすりゃいいんです。だから人間の質なんでものは、あんまり、そうそう増やせば質が落ちるなんて言わないで、なるべく増やして行って、その人達を同化して出来るだけ職業を通しての奉仕が出来るようになることだと思ふのです。

ロータリーのいいのは、仕組がいいんです。職業分類があって、役員が一年交替だからロータリー

一のボス化がないのです。去年の理事会は去年のこと、という事になります。従って例えば社会奉仕なんかでも継続事業はなるべくしないで頂きたいのです。それから川崎市に住んでいるんだから、一般川崎市民の共通の問題を取り上げ11クラブで一緒にやりましょうというようなこともなるべく止めて頂きたいのです。どうしても古いクラブが発言力があり新しいところでは自分の意思の表現も出来ずに金だけとられる結果に終わってしまうのです。又継続事業をやりますと、来年の会長の集める会費まで今年の会長が権限を持ち支配してしまうからです。そういうことで我々の団体が精神問題が中心になっての活動なのか、実践というか、行動きようほんが大事なことと思うのですが、この精神と行動についてクラブの集まりでみんなと相談をして、それを行動をもって実行することによって自からのレベルを上げていこうということなんです。そういう積りでクラブの運営をやって頂きたい。

折角、ロータリアンとして会費を納め、時間を使うのですから、人生の重大な部分をここへ注ぐんだから、積んどくんだから、時間と会費を回収するために、ロータリーに出席して、そして、やはりみんなと一緒にやらなければならないロータリアンとしてのそれだけ出資をした意味がないじゃあないですか、そういう意味でなるべく出席をして貰いたい。

そこで、まあ、そういう意味がまだわからん人がいるだろうから、わからん人があったとしても出る、出ろって出席がやかましんだから出なさいよって、引っぱり出しているうちに、いつのまにかそういうのが分かって出るようになる。

またロータリーは、時間がやかましいでしょう。はじめ、あんなに時間がやかましいんじゃ駄目だ、とても務まらないから辞めるぞよ、こう云うんですよ。実際4～5年やってごらんなさい、町の会議に集りが悪いと、我々のロータリーは、こんなだらしないことはしないんだけどね、とか云うことになるのです。

時間がなくなりますのでもう1つ、従いまして

創立したクラブは認証状伝達式をやるまでは、あんまり組織づくりに夢中にならないで、友愛関係を大事にまとめていって、そしてチャーターナイトをいかに上手にやってのけるかというところへ、みんなを吸集して、そしてみんなを動員して、一部の人のみではなしに名々分担を与えて、それ相当の努力をして、それをやることから、スタートした方が私はいいと思います。みんなの親しみの輪が出来ていないのにしゃれた社会奉仕をやってみた所でどれ程の事が出来るでしょうか。

やはり初めて手掛ける時には簡単なものから手掛けてやる、それでクラブの中の和を図っていくことが一番先きの問題であろうと思うのです。

皆さんの今後のご活躍を期待してこの辺で終わります。(完)

スマイルBOX

横浜田園RC 高寿会員 お世話になります。宜しく。

大和RC 河嶋会員 認証状伝達式典の見事なアルバムを先日北砂幹事さんがわざわざ御届け下さいまして誠に有難うございました。私の生涯で、又とない良い記念品です。大切に保存致します。どうも有難うございました。厚く御礼申し上げます。

大和RC 北山会員 御邪魔致します。

大和RC 江上会員 お世話になります。

大和RC 黒沢会員 久しぶりに訪問させていただきました。

近藤会員 忘れて居ました。結婚記念日を思い出しました。ありがとうございます。妻につたえます。

長谷川会員 猪熊会員お陰様で、家内に健康な安眠を届けることが出来ました。ご厚意に感謝いたします。

蜂屋会員 誕生日を祝って頂き誠に有難う御座居ます。御陰様で64才になりました、孫も10月31日に1人ふえて5人になりました、まだまだ元気に頑張りたいと思います。